

IDDM NewsLetter

昨年から続くコロナ禍は収束する見通しは立ちませんが、私たちはその厳しい環境の中で、活動継続に向けて様々なチャレンジをしてまいりました。特に対面形式でのイベントが開催できないことは、私たちの活動財源に大きな影響を及ぼしていますが、オンラインだからこそできる患者・家族へのサービス向上を模索し、新しいイベントの在り方の確立や動画配信等に挑戦しています。

また、私たちの大きな活動の柱である「研究助成」は、コロナ禍においても手を緩めるわけにはいきません。財源確保、サービス向上、研究支援の加速のすべてを成り立たせることを目指して行ってきたこの1年間の私たちの活動について、「IDDM NewsLetter」からご理解いただければ幸いです。



理事長 井上 龍夫

創立25周年チャリティオークション開催



日本IDDMネットワーク創立25周年を記念し、世界糖尿病デーを含む2020年11月9日～15日の1週間にわたり、「チャリティオークション」を開催しました。女優の吉永小百合さんのエルメスバッグや、作家の村上龍さんのサイン入り著書など、各界の著名人の方々に出品いただきました。

吉永小百合さんは、作品中に1型糖尿病の子どもが登場する映画『最高の人生の見つけ方』(2019年公開)に、当法人が協力したことがご縁となり協力いただきました。

村上龍さんとは、1型糖尿病患者が主人公の著書『心はあなたのもとに』(2011年3月発行)をご縁に応援いただいています。



そのほか、1型糖尿病のアスリートである阪神タイガース岩田稔投手、ヴィッセル神戸セルジ・サンペール選手、同じく1型糖尿病患者で元THE BOOMベーシストの山川浩正さんや、モデルやタレントとして活躍する星南さん、2型糖尿病患者として積極的に啓発活動を行っているお笑い芸人のグレート義太夫さん、芋洗坂係長さんなど、各界よりさまざまな著名人に賛同していただき、落札額の合計は、1,135,041円となりました。

ご出品いただいた皆さま、入札にご参加いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

「1型糖尿病研究基金」に充て、1型糖尿病の根絶(=治療+根治+予防)に向けた研究支援に活用させていただきます。

1型糖尿病患児のイラストをのせた "こどもミュージアムトラック"完成!

1型糖尿病患児が描いたイラストを載せた"こどもミュージアムトラック"が完成しました。

"こどもミュージアムトラック"とは、こどもたちのイラストがドライバーにも見る人にも心のゆとりを取り戻させ、交通事故を減らすことを目的として生まれたトラックです。

1型糖尿病患児からイラストを募集し、ひびと君(5歳)、はるさん(8歳)の作品が選ばれました。将来の夢をテーマに、図工の先生になった自分の姿を描いたはるさんのお母さんは、「娘にとって将来への夢の一步を踏み出せたような大きな喜びとなりました。"こどもミュージアムトラック"で1型糖尿病を多くの人に知って理解してもらえることを願っています。」と語りました。

1型糖尿病のこどもたちの想いを載せ、ひとつでも事故がなくなるように1型糖尿病患児のイラストをのせた"こどもミュージアムトラック"は、大阪・関東間を運行しています。Instagramでは、日本IDDMネットワークの"こどもミュージアムトラック"に出会った方から早速写真を投稿いただきました!



Withコロナ時代のオンラインイベント

1型糖尿病アスリート Web 交流会



2020年度は、ほぼすべてのセミナーやイベントをオンラインで開催しました。参加者からは、「全国どこからでも参加できる」「意外とオンラインイベントの方が質問しやすい」といった声をちょうだいしています。またカーボカウントの動画を制作し、場所と時間を選ばず学ぶ機会の提供も開始しました。これからもオンラインを活用し様々な情報を提供していきます。



◀カーボカウント動画はこちら



1型糖尿病アスリート Web交流会はこちら▶

毎年、夏休みに阪神タイガースの岩田稔投手には、患者・家族を試合と交流会に招待いただいておりますが、2020年夏は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できませんでした。

今年度は特別企画として、ヴィッセル神戸のセルジ・サンペール選手にもご協力いただき「1型糖尿病アスリート Web交流会」を開催し、両選手は、発症当時の想いや病気を公表するに至った理由などを語りました。Q&Aコーナーで「今日をきっかけに病気を公表したい」と語った9歳の患児のお父さんから、後日事務局に連絡をいただき、お子さんが、勇気をだして学校の仲間に無事に公表することができたとの報告をいただきました。交流会の様子は、日本IDDMネットワークの公式YouTubeチャンネルをご覧ください。



患者・家族の交流の機会が減ってきています。新しく患者・家族のオンラインコミュニティ、# にちあいしやべり場 を定期開催していますのでご参加ください。

株主優待によるご寄付



DM三井製糖ホールディングス株式会社は、誰もが安心して摂れる砂糖を開発したいと糖尿病研究を行われていた10年以上前から、1型糖尿病の患者・家族と交流されています。今も「成長期にある1型糖尿病の子どもたちに思う存分食事やおやつを摂って貰いたい」という想いで製品改良や新製品開発を進めていっしやいます。

2019年からは、株主様を対象とした株主優待について、自社製品に代えて日本IDDMネットワークへの寄付を選択いただける「株主優待制度」を導入いただきました。2020年は、565名の株主様から1,797,000円のご寄付をちょうだいしました。

SHARE EATによるクラウドファンディング #クリスマスにケーキを



株式会社SHARE EAT様が、1型糖尿病の子どもたちのために超低糖質のクリスマスケーキを届けるクラウドファンディングを実施されました。クリスマスには、50人の1型糖尿病患児に、サンタに扮した株式会社宮田運輸様(本社:大阪府高槻市)のドライバーさんがクリスマスケーキをお届けしました。

ケーキが届いた患児のお母さんからは、「いつもなら、『少しにしようね』と食べる量を減らすところ『好きなだけ食べていいよ!』と言って食べさせました。』とお手紙をいただきました。

2020年度の研究助成

1型糖尿病根絶にむけて2020年度は、14件 7,250万円の研究費助成を行いました。これまでの累計は、97件 4億8,100万円になりました。

第15回1型糖尿病研究基金課題募集から3つのテーマを決定

寄付者のかたの思いにそった冠基金を活用し、以下の3つのテーマに研究助成いたしました。

自己反応性T細胞を標的とした1型糖尿病発症予防法の開発
京都府立医科大学 岡村拓郎病院助教

予防 ワンポイント解説 100万円 最長3年間

1型糖尿病の原因となる膵臓のβ細胞を攻撃するT細胞の種類を明らかにする研究です

松崎ちづる基金
託された想い
1型糖尿病の人を一人でも減らしたい

血糖値の変動に応じた機能的インスリン分泌を可能とするAAVベクターの構築と1型糖尿病モデルに対する治療効果の検討
筑波大学医学医療系スポーツ医学研究室 菅澤威仁助教

根治 ワンポイント解説 100万円 最長3年間

筋肉などに膵臓と同じ機能を付加し、たった1回の注射で1型糖尿病の根治を目指す研究です

Sky基金
託された想い
1型糖尿病の根治に向けた研究を助成してほしい

GLP-1シグナリングによるT細胞アネルギー誘導効果を介した1型糖尿病の根治療法の開発
慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科 伊藤新助教

根治 ワンポイント解説 100万円 最長2年間

2型糖尿病治療薬(GLP-1受容体作動薬)の新しい活用により1型糖尿病の根治を目指す研究です

竹原ファミリー基金
託された想い
新薬を開発してほしい

4つのプロジェクトで、研究助成金の贈呈式を開催

自己免疫を制御させる免疫療法の臨床試験プロジェクト (2020年10月30日、900万円<累計2000万円>助成)

「ご寄付いただいた皆様、臨床試験に協力いただいている皆様に心より感謝申し上げます。現時点で臨床試験による重篤な副作用は確認されておらず、順調に研究が進んでいます。今後更なる解析を行い、本研究の安全性と有効性について検証していきたいと思っております。」



富山大学附属病院
中條大輔特命教授

1型糖尿病ワクチンプロジェクト (2020年12月21日、2000万円助成)

「皆様からのご支援のおかげで予防ワクチンの開発を目指したウイルス糖尿病研究を着実に進めることができています。今後、2、3年で糖尿病の原因となりうるウイルスを特定し、その後の2年で、いよいよ本当に使用できるワクチン開発に取り組みたいと考えています。」



佐賀大学
永瀬正法特任教授

iPS細胞から膵臓を作る世界注目のプロジェクト (2020年12月3日、1000万円助成)

「我々が研究を進めていくうえで、患者・家族団体の支援というのは非常に重要です。井上理事長の働きかけで、文部科学省もついにガイドラインを変更し、人と動物のキメラを作ることによって人の臓器を作成するという我々の研究がようやく日本でも進められるようになりました。」



東京大学医科学研究所
中内啓光特任教授

移植ではない治療法を確立するプロジェクト (2021年4月26日、2000万円助成)

「研究に支援をいただいた方、膵島を提供いただいたドナーとご家族の方々に厚くお礼を申し上げます。病歴の長い1型糖尿病患者さんでも、インスリンを分泌する膵β細胞が残っています。わずかに残った膵β細胞量を増やす研究を進め、研究成果を日本人の膵島で検証し、日本人の1型糖尿病患者さんに向けた臨床試験につなげたいと思います。」



群馬大学
白川純教授

「皆さまからのご支援に深く御礼申し上げます。今回いただいた助成金は、ヒトの細胞と動物の細胞がキメラを形成するために必要な条件を探る研究に活用します。条件が見つかったのちには、動物の体内にヒトiPS細胞由来の膵臓を作ることを目指します。」



東京大学医科学研究所
山口智之特任准教授

低血糖アラート犬もオンライン訓練中

低血糖に悩む患者・家族を助けたいと海外で実用化されている低血糖アラート犬*の養成プロジェクトを始めたのは、2017年のことです。

犬・猫の殺処分0を目指すピースウィンズ・ジャパンさんのご協力を得て、殺処分を免れたアニモ(3歳)とアロエ(3歳)が、日本初の低血糖アラート候補犬となりました。現在、基礎訓練を終えたところですが、コロナ禍の影響でスウェーデンから講師が来日できず、認定試験が受けられません。未来の家族と一緒に暮らし実地訓練をしながらオンラインで指導を受けています。候補犬3頭目となるエフィ(2歳)も基礎訓練中です。

*低血糖アラート犬とは…特別な訓練を受け、糖尿病患者が低血糖になったときに知らせてくれる犬のことです。



お買い物が支援になる「寄付付き商品」



低糖質ライフ
低糖質スイーツ



SHARE EAT
超低糖質パウム、フィンランシエセット



マザーレンカ
ベルギーチョコレート(ドクターズチョコレート)



有明の風
有明海産の海苔各種



小島芳栄堂
有田焼



ジェイ・エス
コットンウォーマー (IONDOCTOR)



プレシヤス・アイ
Medical ID (医療識別票)



i_lumi
インスリン治療用ポーチ



NDESIGN
血糖測定器用シール



エヌワイ企画
印刷



プレシヤス・アイ
ブルーパンダの缶パジャマ



アシュティー・アンド・カンパニーズ
低血糖アラート犬Tシャツ



シャトレゼ
糖質カットアソートBOX

患者・家族や支援者の方々に、売上の一部を当法人に寄付いただく「寄付付き商品」を販売いただいています。お買い物での支援、また「寄付付き商品」販売によるご支援をお待ちしています。



ふるさと納税で 1型糖尿病に 治る未来を



日本IDDMネットワークが本部を置く佐賀県では、NPOを指定してふるさと納税による寄付を行うことができます。



子どもたちの 未来に贈り物を —3,000円からの遺産寄付—

遺産の寄付は高額とイメージされる方が多いのですが、当法人では3,000円以上のご寄付をお願いしております。お気軽にお問い合わせください。

資料請求はこちら▶

お問い合わせ先: legacy@japan-iddm.net



糖尿病患者と家族のための オンライン保険セミナー



糖尿病患者が加入できる保険サービスのご紹介と、フィナンシャルプランナーが患者・家族のライフプランにあわせた保険の選び方について解説します。

日時: 2021年7月10日(土)

14:00~15:45

参加費: 無料



大学進学対象給付型 奨学金(〆切2021年8月31日)

経済的理由で大学への進学や在学が困難となっている1型糖尿病患者が、1型糖尿病根絶のために研究者、医療者を目指すこと、そのための勉学を継続することを応援するために、今年度も返済不要の奨学金を希望する学生を募集しています。

詳しくはこちら▶



新型コロナウイルス情報

重症化リスクが高いと言われる糖尿病患者に向けて、当法人のWebサイトで、専門医に監修いただいた情報を随時発信しております。

詳しくはこちら▶



「わたし治るの？」って
きかれたとき
「治るよ」って
言ってあげられなかった



マンスリーサポーター募集中

1ヶ月1,000円からの寄付で“不治の病”1型糖尿病の子どもたちに治る未来を贈る

ある日を境に、娘が毎日注射を打つことになりました。

原因もわからず、発症したその日から毎日、一生、生きるために
インスリン注射を打たなければならない、その病名は「1型糖尿病」。

そんなある日、突然きかれた一言。「わたし治るの？」

「治るよ」と返事してあげたいけれど、
「今はまだ、治らないんだ」としか答えるしかありませんでした。

「一生治らない」それをわが子に、大切な家族に伝えなくてはいけない。

そんな辛い思いをする人はこれ以上増えなくていい。
もしわが子が1型糖尿病と宣告されたとき、
「でも治るよ」ということができれば、
私たち患者家族はどれほど救われることでしょう。



「治るよ」って言ってあげられる日が早く来ますように。

1型糖尿病研究基金で「治るよ」と言える社会に



いまだ治療法が確立されておらず、生命維持のために注射やポンプによる
インスリン補充を一日たりとも欠かすことができない難病、1型糖尿病。

1型糖尿病の根絶（＝根治＋治療＋予防）を目指す研究を支援するため、
日本IDDMネットワークは、2005年に「1型糖尿病糖尿病研究基金」を立ち上げ、
これまでに5億円近い研究費支援を行っていますが、まだまだ資金が不足して
います。

マンスリーサポーターとして100名の方に毎月1000円ずつご寄付いただくと、
また1つあらたな研究を支援することができます。



認定特定非営利
活動法人

「治らない」から「治る」へ

日本IDDMネットワーク

認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク

〒840-0823 佐賀県佐賀市柳町 4-13

Tel: 0952-20-2062 Fax: 020-4664-1804

お申し込み方法 以下の2つからお選びください

Web



URLまたはQRコードからWebサイトへ移動し、お申込みいただけます。

https://japan-iddm.net/monthly_lp/

クレジットカード対応



郵送



申込用紙に必要事項をご記入いただき、のりづけしてポストにご投函いただくことでお申込みいただけます。

口座振替対応

研究者の声

1型糖尿病の根絶を実現するためには、研究への継続的な支援が欠かせません。



国立国際医療研究センター研究所
膵島移植プロジェクト長

霜田雅之先生

新しい治療の実現のためには、一定期間の継続的な研究が欠かせません。

しかし研究資金を継続的に得ることは簡単ではありません。

有望でも途中で断念する研究も多いのが現実です。

日本IDDMネットワークを通じてさまざまな糖尿病研究に助成があり、

私たちの研究にも頂いていて大変感謝しております。

「根治」へ向けて研究を推進してまいります。

皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

よくある質問

■金額の変更、退会はできますか？

金額の変更、退会はいつでも可能です。事務局までご連絡ください。

■領収書はもらえますか？

ご希望いただいた方にお送りします。領収証の金額は、前年1年間(1月1日~12月31日)に、当法人が実際に領収を確認した寄付金の合計額となります。領収日付はお申込日ではなく、各決済代行会社から日本IDDMネットワークに入金された日付となります。

■税制優遇は受けられますか？

受けられます。「認定NPO法人」として所轄庁(佐賀県)の認定を受けていますので、ご入金いただいたご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは同封の税制優遇に関するチラシをご覧ください。

■寄付をするとメールが届くことがありますか？

寄付のお申込みを確認した際のご連絡、研究の進捗状況や、当法人の各種お知らせなどをメールにてお送りしています。

お問い合わせ先

認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク

〒840-0823 佐賀県佐賀市柳町 4-13 Tel: 0952-20-2062 Fax: 020-4664-1804 E-mail: info@japan-iddm.net

毎日の注射から解放するために

iPS細胞で 難病の子どもたちを 救いたい

目標金額20,000,000円

2021年9月30日(木)まで



ふるさと納税でできる1型糖尿病研究支援

国は、iPS細胞の基礎研究へこれまで多くの支援を行ってきました。しかし、膵臓・膵島再生への優先順位は低く、企業も大規模な投資を行う段階にはありません。

日本IDDMネットワークが、iPS細胞の実用化に向けた研究費助成という橋渡しを行わなければ、残念ながら膵臓・膵島再生の分野での革新的な研究が途絶えてしまいます。

私たちは、iPS細胞の技術を膵臓・膵島再生の分野で実現化し1型糖尿病を根治させる為、今回のプロジェクトを立ち上げました。ご支援をお願い申し上げます。

理事長 井上龍夫



娘は生後7ヶ月、息子は2歳4ヶ月で1型糖尿病を発症しました。昔は血糖測定するのすごく時間がかかったと聞いています。今ではほんの数秒。針もすごく細くなってきているとか、これは研究してくださる方達がいる、色々出来るようになってきている、本当にありがたい事だと思っています。それでも、早く体の針のあとが残らないようになるといいなど、体に針を刺すことがなくなればいいなど、いつも痛みを我慢しながら頑張っている娘と息子を見て針を刺しています。いつか血糖測定もせず、インスリンの量も考えず普通にご飯を皆で食べたいです。

・ ・ ・ 返礼品を選んで支援 ・ ・ ・

夏のおすすめ返礼品



佐嘉おぼろ豆腐と豆乳もち
寄付額10,000円～



吉野さんのシャインマスカット
寄付額15,000円～



有田焼やま平窯「エッグシェル」ブルー吹泡六寸ボウル
寄付額30,000円～

※製造・加工の全てを佐賀県内で行った品と佐賀県内で主要な加工を行った品に、県外品を付属しています。

※主要な加工は全て佐賀県内で行っています。

寄付完了までの流れ

Webからのご寄付

iPS細胞プロジェクトを支援する

手順①



ふるさとチョイスのガバメントクラウドファンディング

「iPS細胞で難病の子どもたちを救いたい」プロジェクトページにアクセスしてください。

日本IDDMネットワーク活動全般を支援する

手順①



ふるさとチョイスの佐賀県NPO支援「日本IDDMネットワーク」ページにアクセスしてください。

払込取扱票によるご寄付



佐賀県ふるさと納税（NPO指定）と印字された払込取扱票に、必要事項をご記入の上、郵便局またはゆうちょATMよりご寄付をお願いいたします。

※払込取扱票の郵送をご希望の方は、日本IDDMネットワーク事務局までご連絡ください。

手順②

お礼の品なしのご寄付の場合

iPS細胞で難病の子どもたちを救いたい～毎日の注射から解放するために～

カテゴリ：子ども・教育



ふるさと納税で応援

ふるさと納税で応援 ボタンを選択し寄附金額入力ページへ移動。寄附金額を入力後、ページに従い入力を進める。

お礼の品ありのご寄付の場合



Q 画像を拡大する

寄付へ進む

お礼の品を選択しお礼の品ページを表示。**寄付へ進む** ボタンを選択し、ページに従い入力を進める。

お礼の品なしのご寄付の場合



さがけん えぬびーおーしえん

2)認定特定非営利活動法人
日本IDDMネットワーク

♡ お気に入り

> お問い合わせ先

「お礼の品」不要の寄付をする

「お礼の品」不要の寄付をする ボタンを選択し寄附金額入力ページへ移動。寄附金額を入力後、ページに従い入力を進める。

手順③ 決済方法は、クレジットカード決済、郵便振替、Amazon Payなど多数選択いただけます。

手順④ 後日、寄附金受納証明書（お礼の品をご希望された方はお礼の品）をお受取りください。
※寄附金控除手続きもお忘れなく！

ふるさと納税とは

ふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度のことです。手続きをすると、所得税や住民税の還付・控除が受けられます。ふるさと納税は、自分の選んだ自治体に寄附を行うと、**控除上限額内の2,000円を越える部分**について税金が控除されます。



日本IDDMネットワーク事務局

840-0823 佐賀県佐賀市柳町4-13

【TEL】0952-20-2062

【FAX】020-4664-1804

平日9:00~17:00（土日祝日・年末年始休業）

【Mail】info@japan-iddm.net